

## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
ホルモンと臨床 内分泌病理学 最近の進歩 2005/2006	特異な病理所見を呈したACTH非依存性大結節性副腎形成(AIMAH)の一例	方波見卓行	内科学(代謝・内分泌内科)
PROGRESS IN MEDICINE	2型糖尿病における二相性プロタミン結晶性インスリンアナログ(ノボラピッド30ミックス注)を用いた従来療法の有用性に関する検討	川田剛裕	内科学(代謝・内分泌内科)
Journal of the Eastern Japan Association of Orthopaedics and Traumatology	Successful treatment with lipo-PGE1 in complex regional pain syndrome(CRPS) type 1 with type 2 diabetes	太田明雄	内科学(代謝・内分泌内科)
ACTH Related Peptides	成人期に副腎不全による低血糖を発症した下垂体茎断裂症候群の1例	佐藤智子	内科学(代謝・内分泌内科)
Internal Medicine	Penile Necrosis by Calciphylaxis in a Diabetic Patient with Chronic Renal Failure	Akio Ohta	内科学(代謝・内分泌内科)
ホルモンと臨床 内分泌病理学 最近の進歩 2005/2006	肺MALTリンパ腫を併発したリンパ球性汎下垂体炎の1例	小林鈴子	内科学(代謝・内分泌内科)
臨床泌尿器科	Aging maleの内分泌学	方波見卓行	内科学(代謝・内分泌内科)
Endocrine Journal	Asymmetric Dimethylarginine(ADMA) in the Aqueous Humor of Diabetic Patients	Motohiko Sugai	内科学(代謝・内分泌内科)
St. Mariana Med J.	Ataxic Form of Guillain-Barré Syndrome: Differential Diagnosis of Acute Cerebellar Ataxia	大島 淳	内科学(神経内科)
St. Mariana Med J.	Experimental Hypoglycaemic Neuropathy in Rat: Nerve Blood Flow and Nerve Conduction Study	大島 淳	内科学(神経内科)
臨床神経生理学	ヒラメ筋の持続的安静に伴う前角細胞興奮性の変動:H反射による検討	柳澤 俊之	内科学(神経内科)
成人病と生活習慣病	t-PA静注療法におけるSCU・SUの重要性	長谷川 泰弘	内科学(神経内科)
成人病と生活習慣病	t-PA時代の脳梗塞治療 適応症例判定における問題点	高田 達郎	内科学(神経内科)
成人病と生活習慣病	t-PA時代の脳梗塞治療 t-PA静注療法の拡大の可能性	高田 達郎	内科学(神経内科)
脳と循環	PET検査で何がわかるか?どこまで進歩したか?	渡邊 裕文	内科学(神経内科)

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
神経超音波医学	アテローム血栓性脳梗塞における頭蓋内主幹動脈病変と頸動脈病変—重症度の差を認めた例の検討—	清水 隆弘	内科学(神経内科)
聖マリアナ医科大学雑誌	ジストニアに対する低頻度連続経頭蓋磁気刺激の効果	塩原紀久子	内科学(神経内科)
聖マリアナ医科大学雑誌	脳梗塞慢性期における血小板自然凝集能の臨床的検討	矢崎直子	内科学(神経内科)
脳卒中	中大脳動脈塞栓症に対する局所線溶療法における経時適NIHSSおよびJESS評価の意義	高田 達郎	内科学(神経内科)
神経内科	筋萎縮性側索硬化症に対する連続経頭蓋磁気刺激の治療効果	堀内 正浩	内科学(神経内科)
脳卒中	Stroke Unit の現状と課題:急性期脳卒中診療体制に関する全国アンケート調査から	長谷川 泰弘	内科学(神経内科)
日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌	脊髄小脳変性症における嚥下障害の検討(1)	眞木二葉	内科学(神経内科)
日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌	脊髄小脳変性症における嚥下障害の検討(2)	塩原 紀久子	内科学(神経内科)
脳と循環	欧州型stroke unitと米国型stroke center	長谷川 泰弘	内科学(神経内科)
脳と循環	脳卒中の治療技術 アルテプラゼ静注療法	高田 達郎	内科学(神経内科)
神経治療学	t-PA静注療法のための救急体制構築 PDAIによる高速CT画像転送システムの活用を含めて	佐々木 直	内科学(神経内科)
臨床脳波	脳波・筋電図の臨床 瞬目反射およびビデオ内視鏡検査、嚥下造影検査による嚥下障害の評価	眞木 二葉	内科学(神経内科)
Medical Practice	血管炎症候群—ANCA関連血管炎を中心に—	尾崎承一	内科学(リウマチ・膠原病・アレルギー内科)
NHKきょうの健康	なんでも健康相談。Q&A「抗リン脂質抗体症候群」による血栓症で入院中です。	尾崎承一	内科学(リウマチ・膠原病・アレルギー内科)
最新医学	ダクリズマブ。自己免疫疾患の新しい治療法—生物学的製剤を中心に—	永淵裕子	内科学(リウマチ・膠原病・アレルギー内科)

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
分子リウマチ	Journal Club "Randomized trial of cyclophosphamide versus methotrexate for induction of remission in early systemic antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis." "Etanercept plus standard therapy for Wegener's granulomatosis."	尾崎承一	内科学(リウマチ・膠原病・アレルギー内科)
Genes and Immunity	Association of HLA-DRB1*0901-DQB1*0303 haplotype with microscopic polyangiitis in Japanese. ,2006	Tsuchiya N	内科学(リウマチ・膠原病・アレルギー内科)
内科	ANCA関連血管炎に対する免疫抑制療法。慎重な立場から	尾崎承一	内科学(リウマチ・膠原病・アレルギー内科)
アレルギー	血管炎症候群の診断と治療Update	尾崎承一	内科学(リウマチ・膠原病・アレルギー内科)
Allergol. Int	ANCA-associated vasculitis: diagnostic and therapeutic strategy.	Ozaki S	内科学(リウマチ・膠原病・アレルギー内科)
Rheumatology	Intravenous cyclophosphamide therapy for progressive interstitial pneumonia in patients with polymyositis/dermatomyositis.	Yamasaki Y	内科学(リウマチ・膠原病・アレルギー内科)
総合臨床	多発性動脈炎	山崎宜興	内科学(リウマチ・膠原病・アレルギー内科)
日本小児循環器学会雑誌	川崎市学校心臓検診におけるBrugada症候群抽出の試み	麻生健太郎	小児科学
聖マリアナ医科大学雑誌	周産期における胎児および新生児ラット肺中のシグナル伝達系の経時的変化	有馬正貴	小児科学
聖マリアナ医科大学雑誌	Diphtheria Tetanus Acellular pErtussis Vaccine(DtaP)接種により誘導されるTh/Th2反応の測定	勝田友博	小児科学
日本小児腎臓病学会雑誌	チアノーゼ型先天性心疾患に伴う腎疾患チアノーゼ性腎症(cyanotic glomerulopathy)	生駒雅昭	小児科学
日本小児循血液学会雑誌	ATG/CyA/G-CSF治療後に3q21q26症候群を発症した再生不良性貧血の1例	木下明俊	小児科学
Brain&Development	Spontaneous resolution of intractable epileptic seizures following HHV-7 infection	山本仁	小児科学
手術60巻(7)	磁石圧迫吻合法(山内法)による消化管バイパス術	小森山広幸	外科学(消化器・一般外科)
THE JOURNAL OF BIOLOGICAL CHEMISTRY Vol.281 No 27	Essential Role of the B23/NPM Core Domain in Regulating ARF Binding and B23 Stability	榎本武治	外科学(消化器・一般外科)

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本腹部救急医学会雑誌26(6)	特集:腹部救急医療におけるリスクマネジメント 胃十二指腸潰瘍穿孔に対する診断と治療ーリスク マネージャーの観点からー	渡邊泰治	外科学(消化器・一般外科)
消化器の臨床 Vol.9 No.4	特集:食道静脈瘤治療ー選択と手技 IVRによる 治療 バルーンタンポナーデ法	田中一郎	外科学(消化器・一般外科)
手術60巻(10)	肝下部下大静脈遮断による左葉切除	大坪毅人	外科学(消化器・一般外科)
消化器外科 第29巻 第12号	肝門部胆管癌に対する左葉尾状葉切除	大坪毅人	外科学(消化器・一般外科)
臨床外科「外科」第68巻 第12号	特集:知っておくべき良性疾患に対する外科的処 置および手術 VⅡ.肝臓 1.肝縫合術	大坪毅人	外科学(消化器・一般外科)
Surg Today. 2006;36(12)	Protein pattern difference in the colon cancer cell lines examined by two-dimensional differential in- gelelectrophoresis and mass spectrometry.	片山真史	外科学(消化器・一般外科)
手術60巻(13)	腹腔鏡補助下直腸切除術の際有用な直腸鏡の開 発	花井 彰	外科学(消化器・一般外科)
診断と治療 第95巻・第2 号	消化器外科(胃・大腸・胆嚢)手術後における真菌 のmicrobial translocationの検討	前田壽哉	外科学(消化器・一般外科)
胸部外科	腹腔動脈と上腸間膜動脈の起始部閉塞に下腸間 膜動脈瘤を伴った胸腹部大動脈瘤	阿部裕之	外科学(心臓血管外科)
胸部外科	右房球状血栓の1例	阿部裕之	外科学(心臓血管外科)
日本臨床外科学会雑誌	Small aorta syndromeによる腹部大動脈閉塞の1 例	舟木成樹	外科学(心臓血管外科)
Surgery Today	Reconstruction of the Hemidiaphragm and Hemipericardium Using Combined Reversed Latissimus Dorsi and Serratus Anterior Muscle Flaps	Hisashi Tsukada	外科学(呼吸器外科)
Int. J. Cancer	p53 Mutation spectra for squamous cell carcinomas at different levels of human bronchial branches	Takuo Shimmyo	外科学(呼吸器外科)
Rheumatology	intravenous cyclophosphamide therapy for progressive interstitial pneumonia in patients with polymyositis / dermatomyositis	H.osada	外科学(呼吸器外科)
Journal of Pediatric Surgery Vol.41 p.2086-2089	Pressure-limited vesico-amniotic shunt tube for fetal obstructive uropathy	H Nagae	外科学(小児外科)

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
JOHNS Vol.22.No.9 p.1289-1295	咽頭・気管の先天異常	北川博昭	外科学(小児外科)
Pediatr Surg Int Vol.22 p.875-879	Early bladder wall changes after creation of obstructive uropathy in the fetal lamb	H Kitagawa	外科学(小児外科)
Radiat Med Vol.25.No.1 p.1-7.	Ductal carcinoma in situ: correlations between high-resolution magnetic resonance imaging and histopathology.	Y Kanemaki	外科学(乳腺・内分泌外科)
Cancer Res Vol.67.No.3 p.951-958	BRCA1 Ubiquitinates RPB8 in Response to DNA Damage	W Wu	外科学(乳腺・内分泌外科)
Cancer Sci Vol.98.No.2 P.174-181	Elevated expression of protein regulator of cytokinesis 1, involved in the growth of breast cancer vells	A Shimo	外科学(乳腺・内分泌外科)
Neuro-Oncology	高気圧酸素状態下における抗癌薬の薬物動態	田中克之	脳神経外科学
Neurosonology	くも膜下出血後血管攣縮における経頭蓋ドプラ測定-TCDとSVRIにおける評価; preliminary report-	小野 元	脳神経外科学
日本臨床スポーツ医学会雑誌	野球練習中の頭蓋骨陥没骨折の1例、特に練習中の防具装着の徹底について	千川芳弘	脳神経外科学
日本臨床救急医学会雑誌	外傷性頭蓋外内頸動脈瘤の一例	小野 元	脳神経外科学
CI研究	Air Artifact on 3D-CT in a Pediatric Head Injury Case Mistaken for Depressed Fracture	小野 元	脳神経外科学
日本救急医学会関東地方会雑誌	急性硬膜外血腫によるS状静脈洞圧迫が考えられた小児頭部外傷の1例	小野寺英孝	脳神経外科学
脳卒中の外科	くも膜下出血患者における Prophylactic Isovolemic Hemodilution Pharmacotherapy (PIHP)の効果	小野 元	脳神経外科学
J Neurosurg Spine.	Head-turned rear impact causing dynamic cervical intervertebral foramen narrowing: implications for ganglion and nerve root injury.	Tominaga Y	整形外科
日本足の外科学会雑誌	SF-36を用いた外反母趾手術症例の健康関連QOLの評価-日本足の外科学会母趾判定基準による医療側からの客観的評価との比較-	仁木久照	整形外科
日本マイクロ会誌	重度軟部組織損傷を伴った下腿・足部開放骨折後の再建について	清水弘之	整形外科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
6th APFSSH	Clinical Application of the Two-Plating System for the Distal Radius Fracture	Moroe Beppu	整形外科
骨・関節・靭帯	骨・軟部腫瘍における proton-decoupling and nuclear Overhauser enhancementを併用したP-31 MR spectroscopyの臨床的有用性	中島久弥	整形外科
Journal of Dermatological Science	Oral antihistamine therapy influences plasma tryptase levels in adult atopic dermatitis	Tamihiro Kawakami	皮膚科学
皮膚病診療	ステロイド外用剤と色素異常	相馬良直	皮膚科学
新薬と臨床	掻痒を伴う皮膚疾患患者に対するエバステン(エバステル <sup>®</sup> 錠)の有効性の検討-DLQIによる患者QOLの評価薬と臨床	相馬良直	皮膚科学
British Journal of Dermatology	Elevated serum anticardiolipin antibody levels in adult Henoch-Schönlein purpura.	Tamihiro Kawakami	皮膚科学
Asian J Androl	Inter/intra investigator variation in orchidometric measurements of testicular volume by ten investigators from five institutions	Tatsunami S Iwamoto T	泌尿器科学
泌尿器外科	慢性腎不全の生涯治療 下部尿路障害を持つ症例に対する腎移植(特に膀胱を使用できなかった2例について)	力石辰也	泌尿器科学
日本医師会雑誌	生殖能力のある日本人男性の精子数-国際共同研究による精液検査の諸問題	岩本晃明、野澤資亜利	泌尿器科学
Endocr J	Hormone profiles after intramuscular injection of testosterone enanthate in patients with hypogonadism	Nakazawa R, Iwamoto T	泌尿器科学
Human Experimental Toxicology	Effect of prenatal exposure to bisphenol A on the serum testosterone concentration of rats at birth	Tanaka M, Iwamoto T	泌尿器科学
Fertil Steril	Altered expression pattern of heat shock transcription factor,Y chromosome(HSFY) may be related to altered differentiation of spermatogenic cells in testes with deteriorated spermatogenesis.	Sato Y, Iwamoto T	泌尿器科学
聖マリアンナ医科大学雑誌	精巣組織の異所移植と精巣機能の維持・保存・再生-ヒトの精子形成をマウスの背中で再現する-	岩本晃明	泌尿器科学
J Androl	Urinary prostate specific antigen is a noninvasive indicator of sexual development in male children	Sato I, Iwamoto T	泌尿器科学
聖マリアンナ医大誌	熱可逆性ハイドロゲル(Thermoreversible gelation polymer; TGP)を培養基材に用いた再発した婦人科癌に対する抗癌剤感受性試験	大原 樹	産婦人科学

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Investigative Ophthalmology & Visual Science	TNF- $\alpha$ -Induced Optic Nerve Degeneration and Nuclear Factor- $\kappa$ B p65	Yasushi Kitaoka	眼科学
BRAIN RESEARCH	Involvement of TNF- $\alpha$ -in glutamate-induced apoptosis in a differentiated neuronal cell line	Jiro Kogo	眼科学
Journal of Neuroscience Research	Neuroprotective Effect of 17 $\beta$ -Estradiol Against N-Methyl-D-Aspartate-Induced Retinal Neurotoxicity Via p-ERK Induction	Yasuhiro Hayashi	眼科学
BRAIN RESEARCH	NMDA-induced interleukin-1 $\beta$ expression is mediated by nuclear factor- $\kappa$ B p65 in the retina	Yasushi Kitaoka	眼科学
Auris Nasus Larynx	Comparison between stabilometry with and without head tilts in a roll plane.	Kenya Inukai	耳鼻咽喉科学
聖マリアンナ医科大学雑誌	副鼻腔術後および慢性副鼻腔炎患者における涙嚢窩・骨性部鼻腔涙管の形態変化—正常群との比較検討—	栗原宜子	放射線医学
Radiat Med	Unilateral Transpedicular Percutaneous Vertebroplasty Using Puncture Simulation.	小林 憲	放射線医学
医学物理	診断用モニタ不変性試験の環境構築と運用	江原範重	放射線医学
Interventional Raiology	GDA-コイル法用に改良した0.035inch-GW対応W-Spiral(呼称:G-Spiral)の使用経験	岡本恭子	放射線医学
日獨医報	特集:Emergency Radiology 救急画像診断(IVRを含む)において放射線科医の知っておくべきポイント 心・大血管における救急疾患	黒木一典	放射線医学
日獨医報	特集:治療方針決定にMSCTが及ぼすインパクト—CT Angiographyを中心に— 大血管疾患の診断・治療におけるMSCTのインパクト	小林泰之	放射線医学
臨床画像	肺血栓塞栓症に必要な画像診断およびIVR 肺血栓塞栓症におけるMSCT診断	松岡 伸	放射線医学
INNERVISION	乳がん診療のTOPIC 乳腺疾患における高分解能MRIの現状と今後の展望 局所高分解能撮像から両側乳房高分解能撮像へ	印牧義英	放射線医学
日本胸部臨床	呼吸器疾患のIVR 胸部大静脈に対するIVR	松岡 伸	放射線医学
J Comput Assist Tomogr	Morphological Progression of Emphysema on Thin-section CT:Analysis of Logituditudinal Change in the Number and Size of Low-Attenuation Clusters	松岡 伸	放射線医学

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床画像	当直画像診断医のためのCT・MRIのための注意点 外傷・胸部	松本純一	放射線医学
Radiat Med	Ductal Carcinoma in Situ:Correlations between high-resolution Magnetic Resonance Imaging and Histopathology	印牧義英	放射線医学
映像情報Medical	特集:デジタルマンモグラフィ時代を迎えて 高分解能MRIによる乳がん診断ー現況と今後の展望	岡本恭子	放射線医学
医学物理	画像診断分野の医療経済ならびに関連する状況について	今村恵子	放射線医学
Respiration	Quantitative Thin-Section CT Analysis of the Enlargement and Coalescence in Patients with Emphysema	松岡 伸	放射線医学
Vascular Lab	Diagnosis特集: 循環器:MR～最近の非造影撮影を中心に	小川普久	放射線医学
			計 126件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。



## (様式第12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 小坂橋 靖
管理担当者氏名	総務部長 伊藤喜男、事務部長 薄井隆文、薬剤部長 増原慶壮 臨床検査部長 辻本文雄、画像診断センター 栗原泰之、医療情報部 中島康雄 看護部長 陣田泰子、栄養部長 川島由起子

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		薬剤部、医療情報部、看護部、臨床検査部、画像診断センター 事務部管理課、事務部医事課、事務部医療課、 メディカルサポートセンター	診療記録は平成17年8月から電子化を開始した。診療記録は1患者1カルテ方式とし、入院は10年、外来は5年の保存期間を規定としている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部	
	高度の医療の提供の実績	事務部	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	事務部	
	高度の医療の研修の実績	事務部	
	閲覧実績	事務部	
	紹介患者に対する医療提供の実績	メディカルサポートセンター	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部	
確規保則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理対策室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理対策室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理対策室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理対策室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理対策室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理対策室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 小坂橋 靖
閲覧担当者氏名	事務部長 薄井 隆文
閲覧の求めに応じる場所	事務部 管理課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	一件
閲覧者別	医師	延	一件
	歯科医師	延	一件
	国	延	一件
	地方公共団体	延	一件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	56.4%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		19,019 人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		14,622 人
	C：救急用自動車によって搬入された患者数		3,744 人
	D：初診の患者の数		51,580 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 ABCDは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(1名)・無
医療安全管理者(看護師) 1名	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)・無
感染管理者(医師) 1名	
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
医療安全管理対策室 ・所属職員： 専任4名(看護師2名、事務員2名) 兼任(医師4名、看護師1名、薬剤師1名、診療放射線技師1名) ・活動の主な内容： (1) 事故防止に関する活動 *インシデント・アクシデントレポートの集計、分析、改善策の検討・策定・評価、管理 *各部門のリスクマネージャーとの連絡調整 *医療安全に関するマニュアルの作成と更新 *各部門の安全活動状況の把握(巡視)と指導 (2) 事故調査に関する活動 *事故発生時の調査、分析と改善策の検討・策定・評価 (3) 安全教育・啓蒙活動 *安全管理に関する教育・研修の企画、運営 *至急回報、ニュースの発行 *安全管理に関する会議の運営	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
患者相談窓口 次のとおりの内容を外来周りと病棟に掲示し、入院時に配布する「入院のしおり」にも記入している。また、病院のホームページに掲載している。 (1)趣旨 (2)設置場所 (3)電話/FAX/Eメールアドレス (4)担当者の所属、氏名及びその責任者 (5)対応時間 相談事案の受理、取り扱い、集計、管理者への報告等は「大学病院患者相談窓口運営規程」に基づいて行なっている。	

⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況		有・無
<p>医療安全管理指針  平成12年4月1日作成  平成15年4月1日改定  平成16年3月1日改定一（別紙）</p> <p>・指針の主な内容：  *基本理念  *用語の定義  *委員会・組織  *マニュアルの整備  *職員研修  *報告制度  *医療事故発生時の対応  *指針の閲覧  *指針の改定 について明記。</p>		
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		
医療安全対策委員会		年13回
<p>・人員構成：  事故防止担当副院長、医療安全管理対策室長、医療安全管理者を含む医師9名、看護師2名、薬剤師1名、管理栄養士1名、臨床検査技師1名、診療放射線技師1名、事務員1名で構成。</p> <p>・活動の主な内容：  (1) 医療安全に係る事項の審議  *医療安全管理に係る基本方針  *リスクマネージャー会議・対策室からの提言内容に関すること  *医療安全対策の立案・実施に関すること  *医療安全推進に関すること  (2) 事故発生時の対応  *事故報告書（アクシデント・合併症）の確認  *患者・家族に対する、マスコミ等に対する、病院としての対応策の検討  (3) 医療安全管理対策室への改善策等の提言</p>		
リスクマネージャー会議		年13回
<p>・人員構成：  事故防止担当副院長、医療安全管理対策室長、医療安全管理者を含むリスクマネージャー（医師41名、看護師39名、技師等17名、事務員10名）</p> <p>・活動の主な内容：  *当院のインシデント・アクシデント事例の共有  *事故防止の発生要因分析と対策の検討とその評価  *マニュアル、事故防止対策の実施状況及び評価</p>		

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況			年26回
18年度	開催日	テーマ名	参加者数
(1)第1回職員研修会 (講演会1回目)	5月17日	自動体外除細動器(AED)について(当院救命救急センター副センター長)	132名
(2)第1回職員研修会 (講演会2回目)	5月23日	〃 (当院救命救急センター医長)	106名
(3)第1回職員研修会 (ビデオ研修会1回目)	5月24日	〃	46名
(4)第2回職員研修会 (講演会1回目)	5月26日	クレームを医事紛争に発展させない為に(当院医療課課長)	315名
(5)第2回職員研修会 (講演会2回目)	6月22日	〃	295名
(6)第2回職員研修会 (ビデオ研修会1回目)	6月27日	〃	136名
(7)第2回職員研修会 (ビデオ研修会2回目)	6月28日	〃	97名
(8)第2回職員研修会 (各部署リスクマネージャーからの伝達講習)	6月29日～ 8月31日	〃	867名
(9)第3回職員研修会 (講演会1回目, 医師・看護師対象)	5月31日	輸液施行中の管理(宮脇竜一協和発酵工業株式会社)	126名
(10)第3回職員研修会 (講演会2回目, 医師・看護師対象)	6月5日	〃	169名
(11)第4回職員研修会	12月18日	医事紛争の現状と課題(福嶋弘榮-当院顧問弁護士、弘中総合法律事務所)	425名
(12)第5回職員研修会 (講演会1回目)	1月22日	重大医療事故発生時の対応について(当院小児外科部長、医療安全管理対策室長)	306名
(13)第5回職員研修会 (講演会2回目)	1月29日	〃	222名
(14)第5回職員研修会 (ビデオ研修会1回目)	1月26日	〃	104名
(15)第5回職員研修会 (ビデオ研修会2回目)	1月30日	〃	130名